



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年4日間安宅の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

「わかる」。

校長 日野 公三

教師は問う。「わかりましたか？」
 生徒は答える。「はい、わかりました」
 その瞬間、誤解が生じていることに気付かずにその誤差、ずれが後々のトラブルや問題行動、現象の基になっていることがある。人間関係に齟齬をきたす原因になっていることがある。それが、理解なのか、認識なのか、共感なのか、同意なのか。
 英語だと、I understand, but I don't agree with you. という表現がある。理解はするが、同意は出来ない。
 教師は発問に工夫をしなければならない。
 コミュニケーションスキルは、「わかる」に始まって「わかる」に終わる。

今月の調理～サンドイッチ5種



エッグサンド
 ツナサンド
 ポテトサラダサンド
 ハムチーズサンド
 苺生クリームサンド

福岡 本校 所属生徒 内訳 (6/1 付)					全校 328名
スクール生	ネット生	セルフ生	サポート校	合計	
28名	36名	10名	18名	92名	



オニオンスープ



新玉ねぎを使った、オニオンスープは、飴色になるまでしっかりと炒めて甘味を出すのが美味しさの秘訣。



新任の町田先生の教員免許は家庭科。得意技を生かして毎月、第3金曜日には地元の旬の食材を使った調理実習を実施中。生徒達はレシピをまとめて成果物として提出できる。来月のメニューは新じゃがの肉じゃがとお吸い物。試食においでください！



校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

地域が学校

明蓬館高校が開校した折りに、学校と安宅区を繋ぐ役目として「地域支援協議会」ができました。今年で10回目の会議開催となります。

安宅地区代表は、中原保香様、宗近誠様、真方貞利様、小峠幸博様、有吉延隆様、谷口好隆様の6名。以心田心加工部からは重藤幸子様、安宅地区青年会からは寺田響様、学識経験者として石井清實様、杉本利雄様、片桐慎様の3名。川崎町役場からは、商工観光課長の寺内幸夫様、企画情報課長の中村和貴様、教務課長の小松芳文様の合計14名の委員の皆さまへ辞令交付をさせていただきました。今年度の会長は中原区長が快くお引き受けくださいました。顧問として手嶋秀昭町長、讚井明夫教育長にもご指導ご助言をいただいています。

今年度は、彼岸花祭りと高校文化祭を合同にて行うことや、敬老会でのバンド出演、看板作り等について依頼やアドバイスをいただくことができました。

いつもながら感謝申し上げます。委員の皆様におかれましては、2年間何卒宜しくお願い申し上げます。
 副校長 小賀 友子

第10回 地域支援協議会



五月二十三日に開かれた協議会では今年度の安宅地区とめいほうかんの合同の行事について話し合う。

新入生歓迎遠足



JR川崎駅から列車で添田駅へ。そこから歩くこと50分、遊舎に到着。遊具に乗ったり、足湯に浸かったり、特産品の買い物をしたり、ルンルン。

看板作りのボランティア



安宅地区と地域パートナーシップ協定を結び、彼岸花群生地をお知らせする看板作りのお手伝い。道路上に立ち並ぶ完成品をこうご期待。